

令和2年度「大気環境保全活動功労者表彰」受賞者一覧(敬称略)

別紙1

推薦者	団体	個人	主な功績
富山県		ひらはら たつや 平原 達也	平成20年に就任以来、12年にわたり富山県環境審議会大気騒音振動専門部会の専門員を務め、大気環境に関する有識者として、本県の大気環境保全行政の推進に多大な貢献をした。 全国で唯一の全県域を対象とした大気環境保全に関する行政計画「富山県大気環境計画(ブルースカイ計画)」の2回の改定、効率的かつ確実な大気汚染測定網の整備を目的とした「大気汚染常時観測局適正配置計画」の策定に尽力し、本県の地域特性に応じた大気保全施策の確立に多大な貢献をした。
大阪府		やまもと たつや 山本 達也	大気汚染常時監視測定局の再配置に取り組み、国に先駆けて自動車排出ガスの総量規制のあり方や手法の検討に尽力した。また、大阪国際空港や関西国際空港における航空機騒音対策に尽力するとともに、大阪府立環境農林水産総合研究所において微小粒子状物質(PM2.5)の生成機構や発生源寄与割合の解明に向けた研究をリードするなど、長年にわたり、大阪府の大気環境保全及び交通環境対策行政に大きく貢献した。
鹿児島県		にしはら みつたか 西原 充貴	鹿児島県入庁から退職するまで長年にわたり環境保全行政に精力的に取り組み、本県の環境保全行政の推進に大きく貢献するとともに、近年の新たな大気環境問題への対応に尽力した。 特に、環境センターにおいては、酸性降下物の調査をはじめ、当時未規制であった県内のアスベスト実態調査や揮発性有機化合物に係る大気環境調査など、常に先進的な調査・研究に取り組んできた。 環境保全課長在任中は、微小粒子状物質(PM2.5)や光化学オキシダントの常時監視及び県民への周知に積極的に取り組むなど、本県の大気保全行政における功績は多大である。 県を退職した現在も、保健所の再任用職員として環境衛生業務を担当しており、地域住民の健康の保持及び増進に尽力しているところである。

団体 0

個人 3

合計 3